

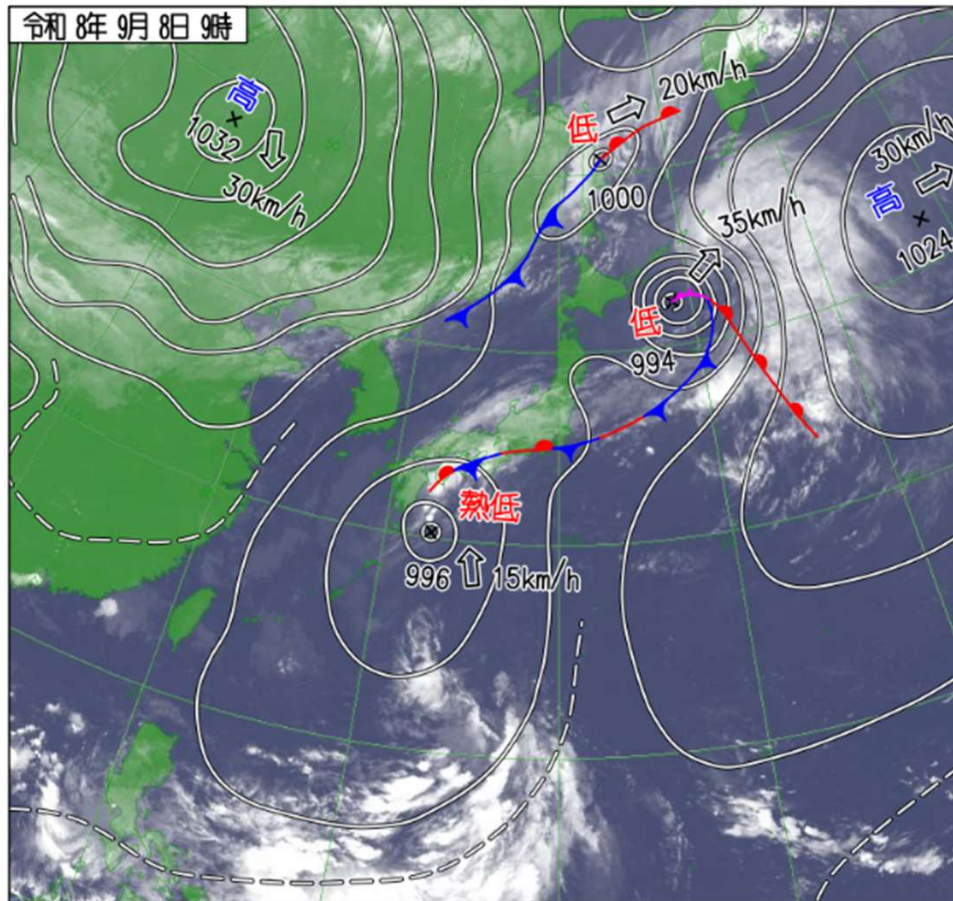
前線や熱帯低気圧による 天気の見通し

大阪管区気象台気象防災部予報課

この資料は、9月8日11時時点の予想に基づいて作成したものですので、最新の気象情報は、気象台ホームページから確認ください。

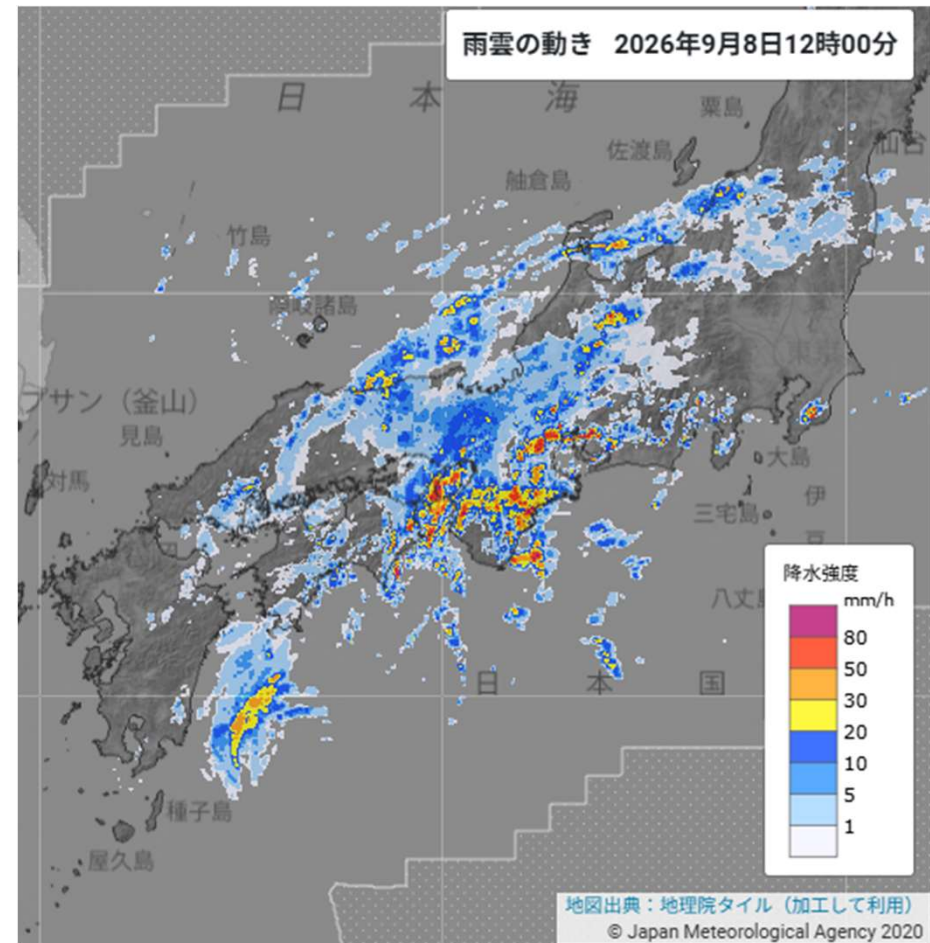
- ① 台風第24号から変わった熱帯低気圧は、今後、西日本の太平洋側で温帯低気圧に変わり、前線上を東に進む。その後、前線は、西日本から東日本に停滞する見込み。
- ② 熱帯低気圧や熱帯低気圧から変わった温帯低気圧周辺の暖かく湿った空気が流れ込む影響で、前線の活動が活発となり、**近畿地方では、大気の非常に不安定な状態が続く。**
- ③ 近畿中部では、9日明け方から夕方にかけて、**土砂災害に厳重に警戒。低い土地の浸水や河川の増水、氾濫に警戒。**
- ④ 近畿地方では、10日にかけて局地的に雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨が降り、警報級の大雨となる可能性がある。前線が停滞することから、更に**総降水量が多くなる。**

令和8年9月8日09時

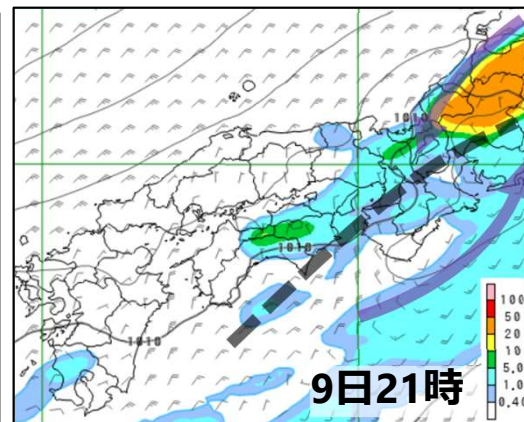
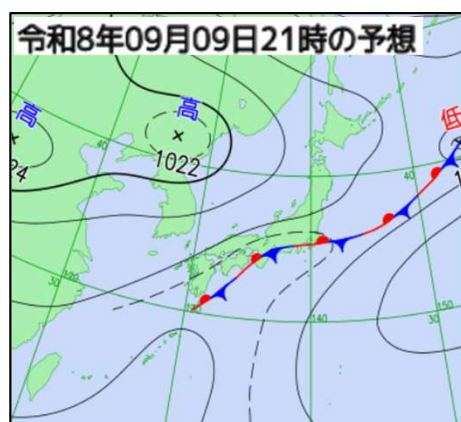
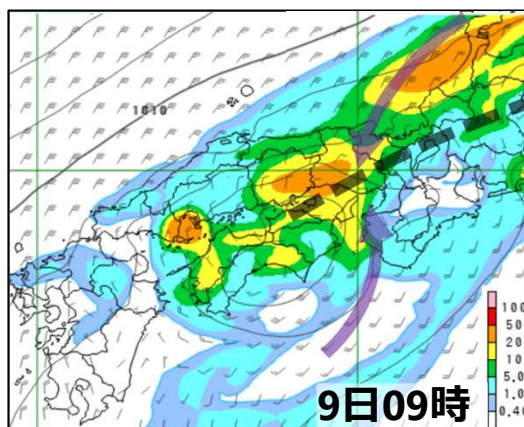
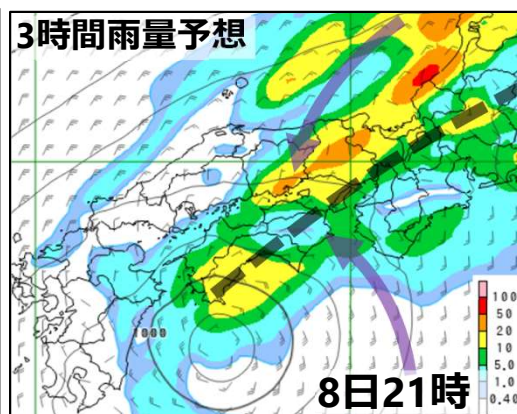
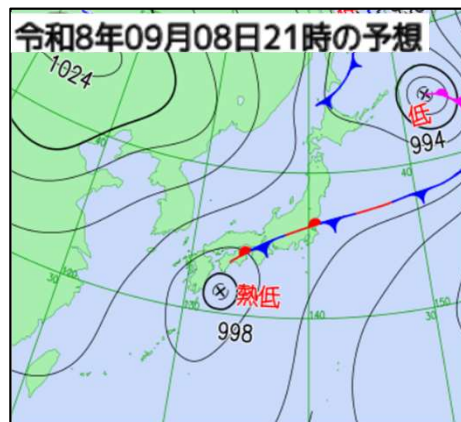


- 近畿地方に前線が停滞している。

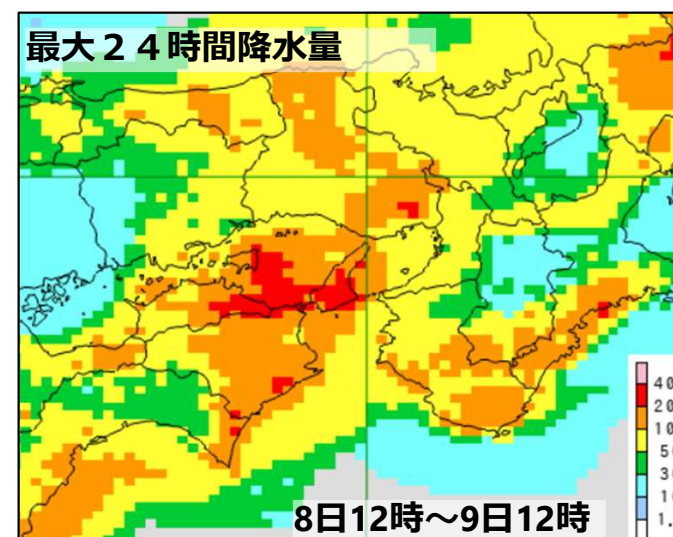
令和8年9月8日12時



- 南から暖かく湿った空気が流れ込み、紀伊水道周辺を中心に発達した雨雲がみられる。



前線が西日本に停滞。熱帯低気圧や熱帯低気圧から変わる低気圧周辺の暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となる。暖かく湿った空気が流れ込む状況は続き、10日にかけて非常に激しい雨や激しい雨の降るおそれがある。



この図は数値予報の計算結果をそのまま画像化したものであり、実際に発表する天気予報や台風予報等とは異なります。降水の面的分布のイメージとして、ご覧ください。

今後の気象状況 近畿地方への影響 8日 11時現在

降水のピーク

降水のピーク

		08日				09日								10日			
		12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
		昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く				
大雨 (ミリ)	北部	40	40	40	40	40	50	50	50	50	40	30	30				
	中部	50	50	40	40	40	50	50	50	50	50	30	30				
	南部	50	50	40	40	30	30	40	40	40	30	30	30				
土砂	北部																
	中部																
	南部																
雷	北部																
	中部																
	南部																
強風 (メートル)	北部陸上	8△	8△	8△	8△	8△	10△	12△	12△	12△	12△	12△	12△				
	北部海上	10△	10△	10△	10△	13△	15△	15△	15△	15△	15△	15△	15△				
	中部陸上	8△	8△	8△	8△	10△	10△	12△	12△	12△	12△	10△	10△				
	中部海上	10△	10△	10△	10△	12△	12△	15△	15△	15△	15△	12△	12△				
	南部陸上	6▽	6▽	6▽	6▽	12△	12△	12△	12△	12△	10△	10△	10△				
	南部海上	10△	10△	10△	10△	15△	15△	15△	15△	15△	12△	12△	12△				
波浪 (メートル)	北部	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2.5	3	3	3	3	3	3				
	中部	2.5	3	3	3	3	3	3	3	3	2.5	2.5	2.5				
	南部	3	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	3				

近畿地方

いずれも多い所で

1時間降水量

8日

9日

いずれも多い所で

24時間降水量

8日12時～9日12時

近畿北部

180ミリ

近畿中部

200ミリ

近畿南部

200ミリ

9日12時～10日12時

近畿北部

100ミリ

近畿中部

150ミリ

近畿南部

150ミリ

10日12時～11日12時

近畿北部

50ミリ

近畿中部

80ミリ

近畿南部

100ミリ

危険

危険警報級の現象発生の可能性のある時間帯
(土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯)

警戒

警戒級の現象発生の可能性のある時間帯
(土砂災害、高潮については、警戒発表の可能性のある時間帯)

注意

注意警報級の現象発生の可能性のある時間帯
(高潮については、注意発表の可能性のある時間帯)

早期注意情報 [中]

三重県の時系列情報（明日までの警報等の見通し）															
2026年09月08日11時00分発表															
三重県北中部		8日				9日								10日	備考・関連する現象
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24		
1 時間最大雨量 (mm)		50	50	50	50	50	50	50	30	30	30	30	30		
2 4 時間最大雨量 (mm)		200													
						150									
大雨															
土砂災害															
高潮	潮位 (m)	0.9	1.2	1.1	0.2	1.0	1.1	0.8	-0.4	0.5	1.0	1.0	0.1		
三重県南部		8日				9日								10日	備考・関連する現象
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24		
1 時間最大雨量 (mm)		50	50	50	50	50	50	50	30	30	30	30	30		
2 4 時間最大雨量 (mm)		200													
						180									
大雨															
土砂災害															
高潮	潮位 (m)	0.8	1.1	1.0	0.4	0.9	1.0	0.7	-0.2	0.6	1.0	0.9	0.2		

いずれも多い所で

24時間降水量

8日12時～9日12時

三重県

200 ㍓

9日12時～10日12時

三重県

120 ㍓

10日12時～11日12時

三重県

100 ㍓

三重県

いずれも多い所で

1時間降水量

8日

9日

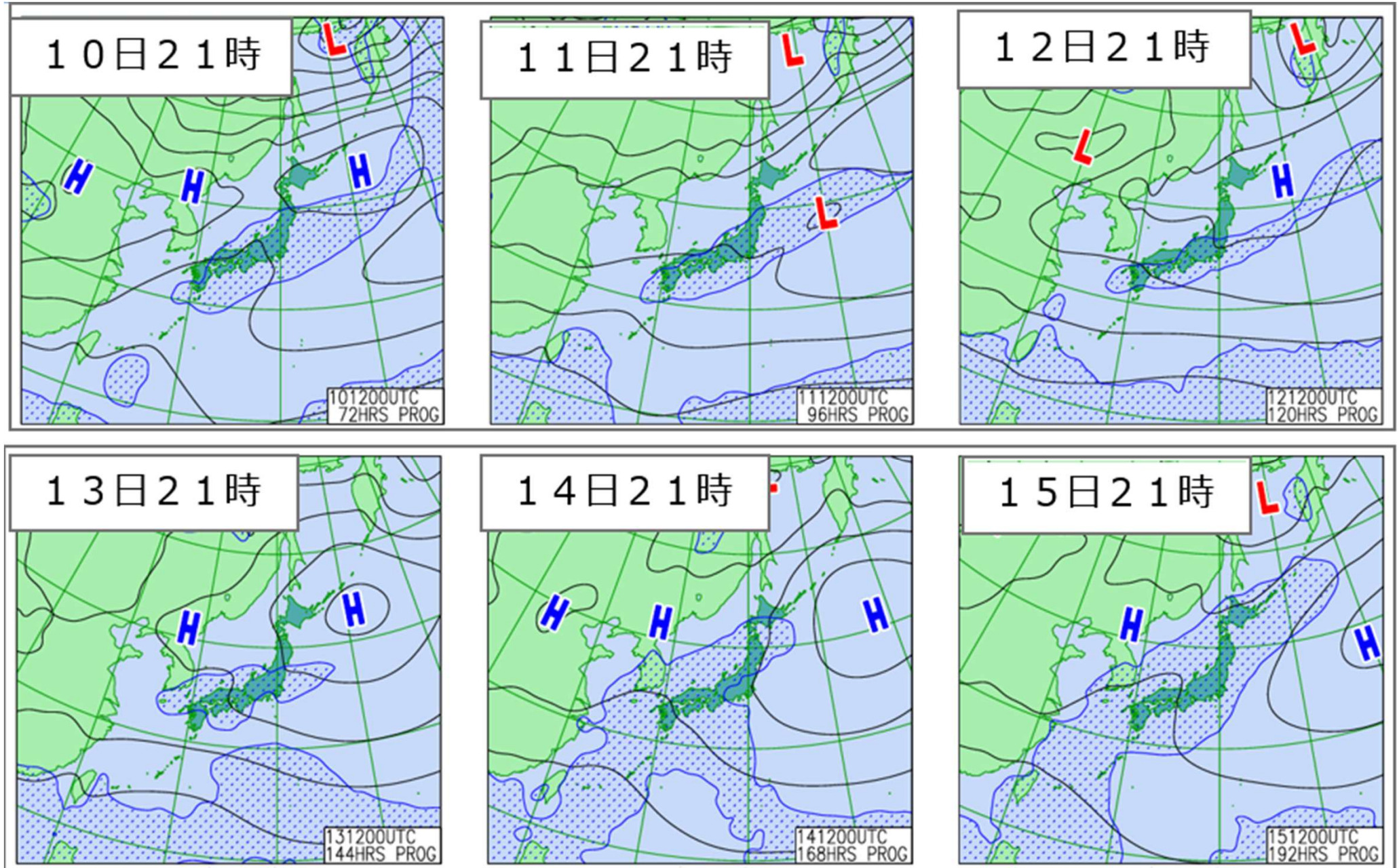
三重県

50 ㍓

50 ㍓

早期注意情報		8日		9日				10日		11日	12日	13日
(警報級の可能性)		12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	滋賀県南部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	滋賀県北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都府南部	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-
	京都府北部	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-	-
	大阪府	[中]	[中]	[中]	[高]	[高]	[中]	[中]	-	-	-	-
	兵庫県南部	[中]	[中]	[高]	[高]	[高]	[中]	[中]	-	-	-	-
	兵庫県北部	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-
	奈良県北部	-	-	-	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-	-
	奈良県南部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	和歌山県北部	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-	-
	和歌山県南部	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-
早期注意情報		8日		9日				10日		11日	12日	13日
(警報級の可能性)		12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
土砂災害	滋賀県南部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	滋賀県北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都府南部	-	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-
	京都府北部	-	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-	-
	大阪府	[中]	[中]	[高]	[高]	[高]	[中]	[中]	-	-	-	-
	兵庫県南部	-	[中]	[高]	[高]	[高]	[中]	[中]	-	-	-	-
	兵庫県北部	-	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-
	奈良県北部	-	-	-	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-	-
	奈良県南部	-	-	-	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-	-
	和歌山県北部	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-	-
	和歌山県南部	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-

予想天気図 (9月10日～9月15日)



ハッチ部分は24時間5ミリ以上の雨の領域

週間天気予報 8日11時

日付	今日 08日(火)	明日 09日(水)	明後日 10日(木)	11日(金)	12日(土)	13日(日)	14日(月)	15日(火)
滋賀県	雨時々止む 	雨時々止む 	曇時々雨 	曇時々雨 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇一時雨 
降水確率(%)	-/-/80/70	60/70/80/60	60	50	50	50	50	50
京都府	雨 	雨時々止む 	曇時々雨 	曇時々雨 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇一時雨 
降水確率(%)	-/-/80/70	80/80/70/50	60	50	50	50	60	50
大阪府	雨 	雨時々止む 	曇時々雨 	曇時々雨 	曇一時雨 	曇 	曇一時雨 	曇一時雨 
降水確率(%)	-/-/80/80	60/80/80/50	60	50	50	40	50	50
兵庫県	雨 	雨 	曇時々雨 	曇時々雨 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇一時雨 
降水確率(%)	-/-/80/80	80/60/70/50	60	50	50	50	50	50
奈良県	雨時々止む 	雨時々止む 	曇時々雨 	曇時々雨 	曇一時雨 	曇 	曇一時雨 	曇一時雨 
降水確率(%)	-/-/80/60	60/70/80/50	80	60	50	40	50	60
和歌山県	雨 	雨 	曇時々雨 	曇時々雨 	曇一時雨 	曇 	曇一時雨 	曇一時雨 
降水確率(%)	-/-/80/60	70/80/80/50	80	60	50	40	50	60

- ✓ 10日にかけて局地的に雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨が降るおそれがあります。最新の防災気象情報、キキクルをこまめに確認するとともに、市町村からの避難に関する情報等に留意してください。
- ✓ 暗い時間帯から早朝にかけて現象が強まるおそれがあるため、早めの行動を心がけてください。また、交通機関が乱れる可能性もあります。交通機関からの情報にも留意してください。
- ✓ 熱帯低気圧や低気圧の中心が離れていても大雨になる可能性があります。一時的に降水が弱まっても再び強まるおそれがあります。油断することなく、最新の気象情報に留意してください。
- ✓ お住いの地域でどのような災害が起こりやすいかハザードマップ等で確認するなど、十分な備えをお願いします。

- 以下、参考

災害から身を守るため気象庁では「新たな防災気象情報の運用」を開始しました。危険度を警戒レベルに対応させることで、住民の皆様が避難のタイミングをより判断しやすいように改善したものです。レベルの数や色の持つ意味も確認頂き、特にレベル4の段階までには危険な場所から避難を完了していただく事が重要です。テレビやラジオ、インターネットなどで最新の気象情報をこまめに確認し、お住まいの自治体から発表される避難情報にも十分注意してください。早めの備えと避難行動を心がけてください。

レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	とるべき行動
5	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに 危険な場所から かならず避難！>					
4	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
3	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する 人は早めに避難 、避難の準備など
2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
1	早期注意情報				災害への心構えを高める

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

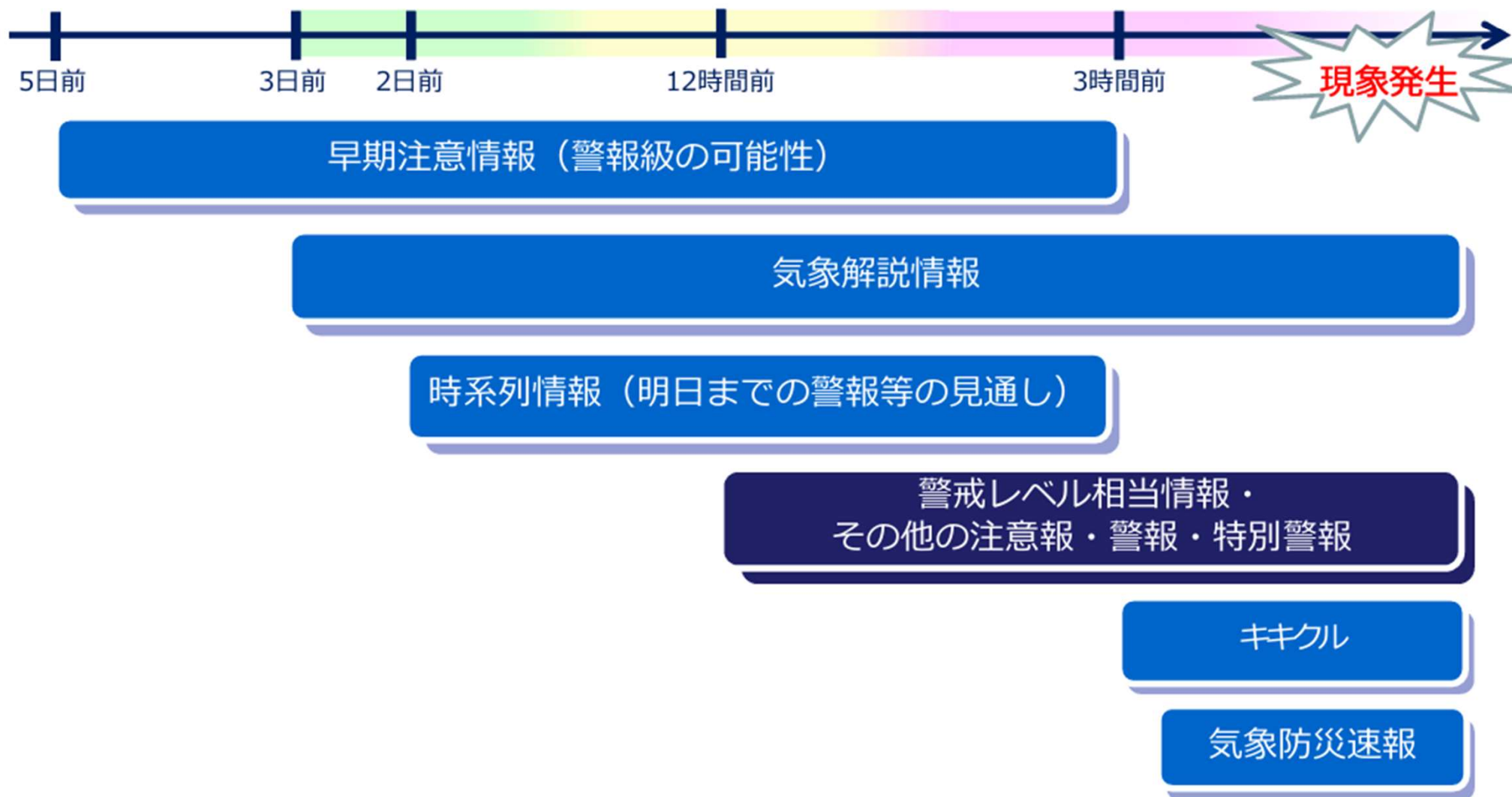
- 早期注意情報（警報級の可能性） <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=probability>
- 時系列情報（明日までの警報等の見通し） https://www.jma.go.jp/bosai/warning_timeline
- 気象警報・注意報（大雨、土砂災害、河川氾濫、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>
- キキクル（どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まっているかを地図上に表示）
 - 土砂キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/>
 - 大雨キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:heavyrain/>
 - 浸水キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>
 - 洪水キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>
- 気象防災速報・気象解説情報（警報や注意報に先立って注意を呼びかけたり、警報や注意報の内容を補足）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>
- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>
- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）
<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>
- 最新の気象データ（雨雲の動き（雨・雷・竜巻）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）
<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>
<https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>
- 14か国語による防災気象情報の提供
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf



@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
 - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
 - キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。



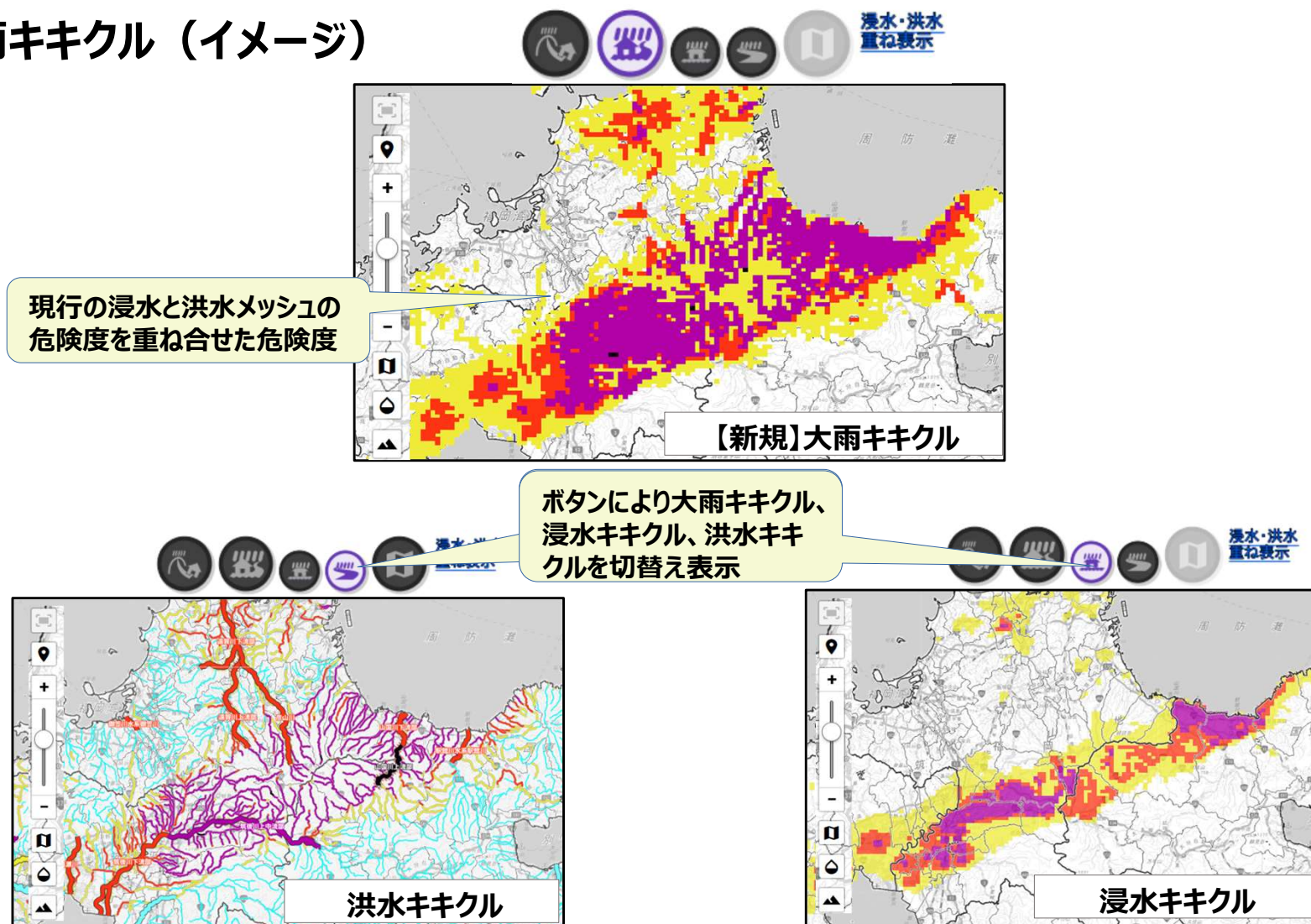
- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報 等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

- 大雨に関する情報が発表された際に、危険度が高まっている地域を確認することができます。
- 大雨に関する情報が対象としている河川の氾濫の危険度（洪水キキクル）や短時間強雨による浸水害の危険度（浸水キキクル）を重ねて大雨キキクルとして新規表示します。
- 洪水キキクルと浸水キキクルについて切替え表示で、洪水災害・浸水害それぞれの危険度の確認が可能です。

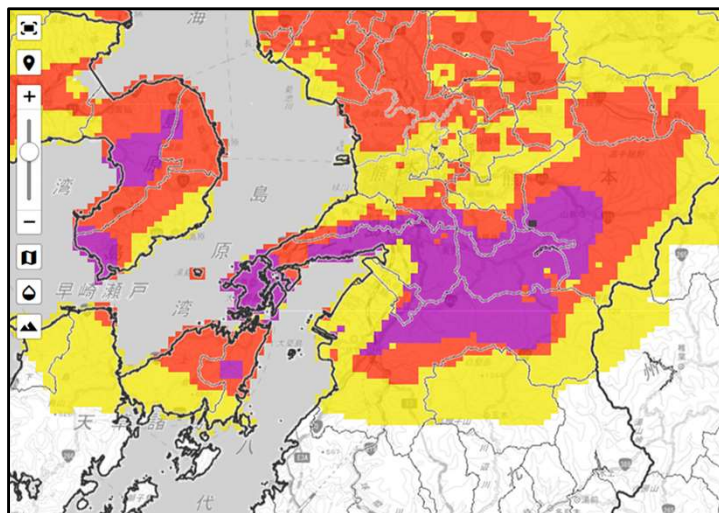
大雨キキクル（イメージ）



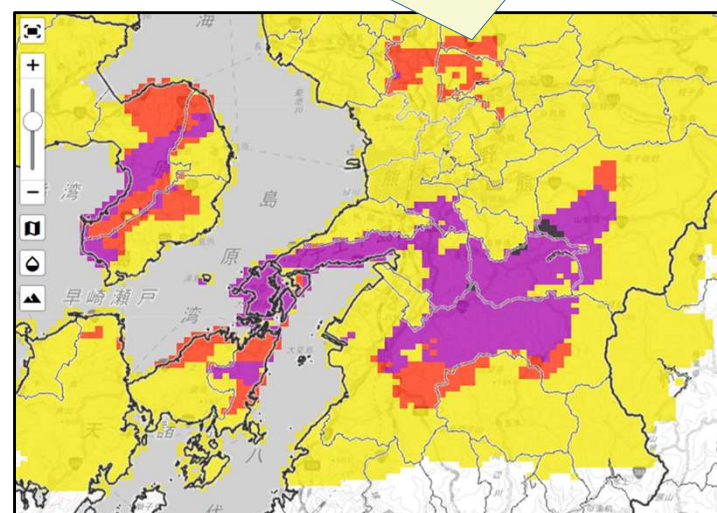
- 土砂災害に関する情報が発表された際に、危険度が高まっている地域を確認することができます。
- 判定基準の変更に伴い、現行に比べて警戒（赤）が絞り込まれるとともに、注意（黄）から危険（紫）になることが多くなる傾向がありますので、表示の特性の変化にご留意ください。

土砂キキクルの特性変化（イメージ）

現行



新運用



危険度の判定方法の変更

■ 災害切迫【警戒レベル5相当】

実況でレベル5 土砂災害特別警報基準到達（変更なし）

■ 警戒【警戒レベル3相当】

＜現行＞ 2時間先までに大雨警報（土砂災害）基準到達

＜新運用＞ **3時間先にレベル4 土砂災害危険警報基準**到達

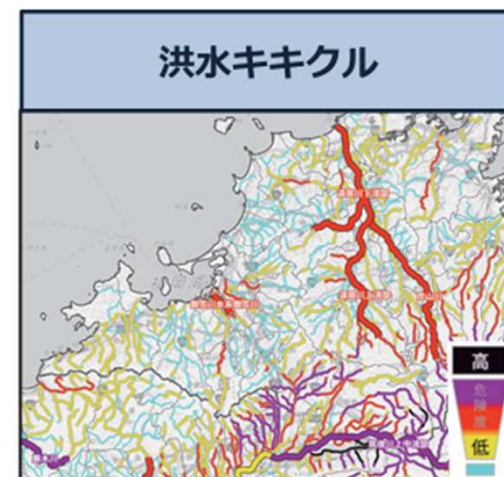
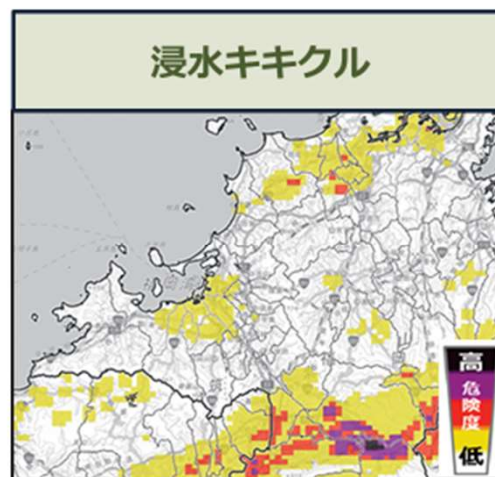
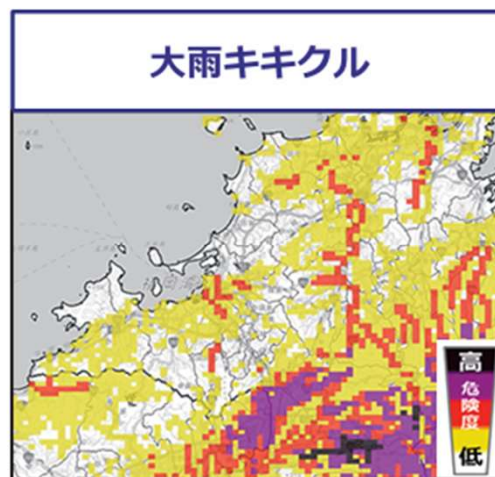
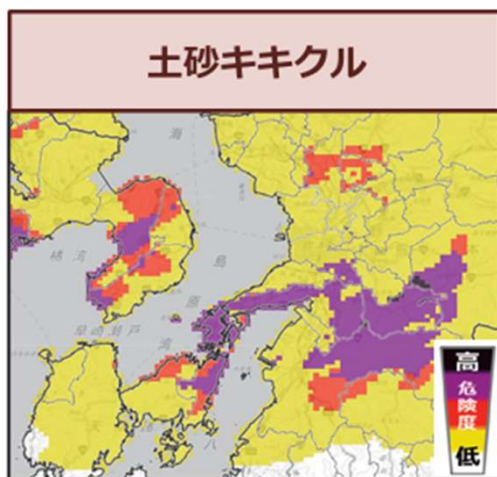
■ 危険【警戒レベル4相当】

2時間先までにレベル4 土砂災害危険警報基準到達（変更なし）

■ 注意【警戒レベル2相当】

＜現行＞ 2時間先までに大雨注意報基準到達

＜新運用＞ **6時間先**までにレベル2 土砂災害注意報基準到達



**「紫」が出現した段階で
速やかに安全な場所に避難する判断を！**

「キキクル」の「災害切迫（黒）」は、大雨による災害が**すでに発生**している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にいつも出現するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

文章
情報

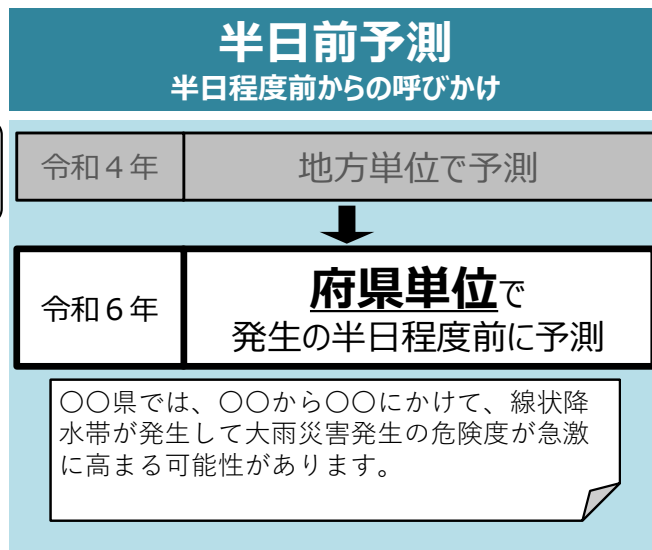
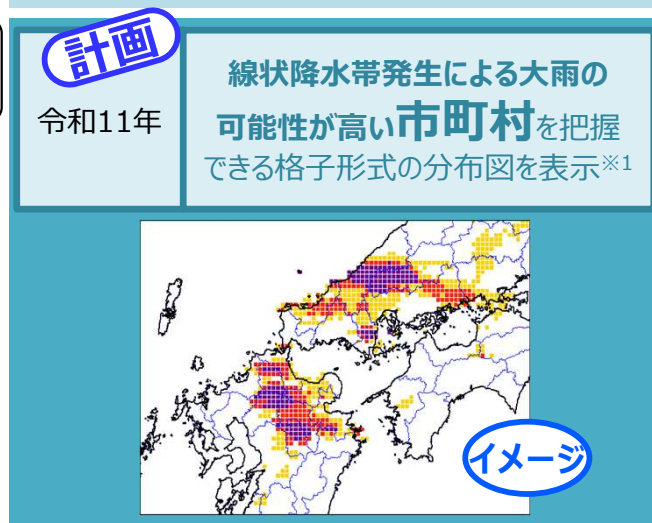
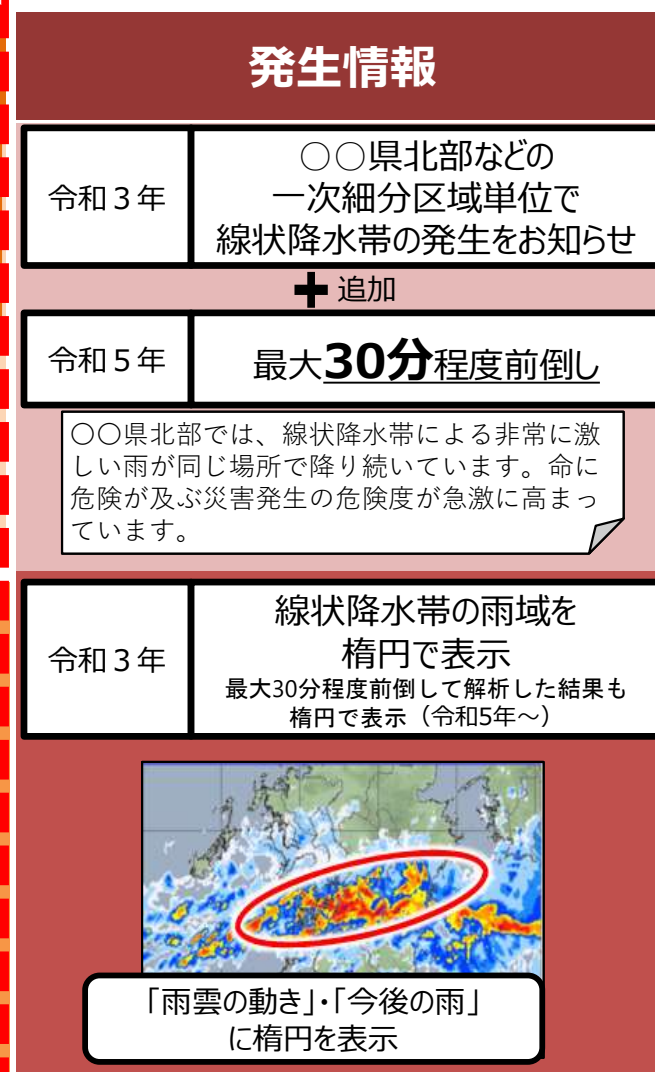
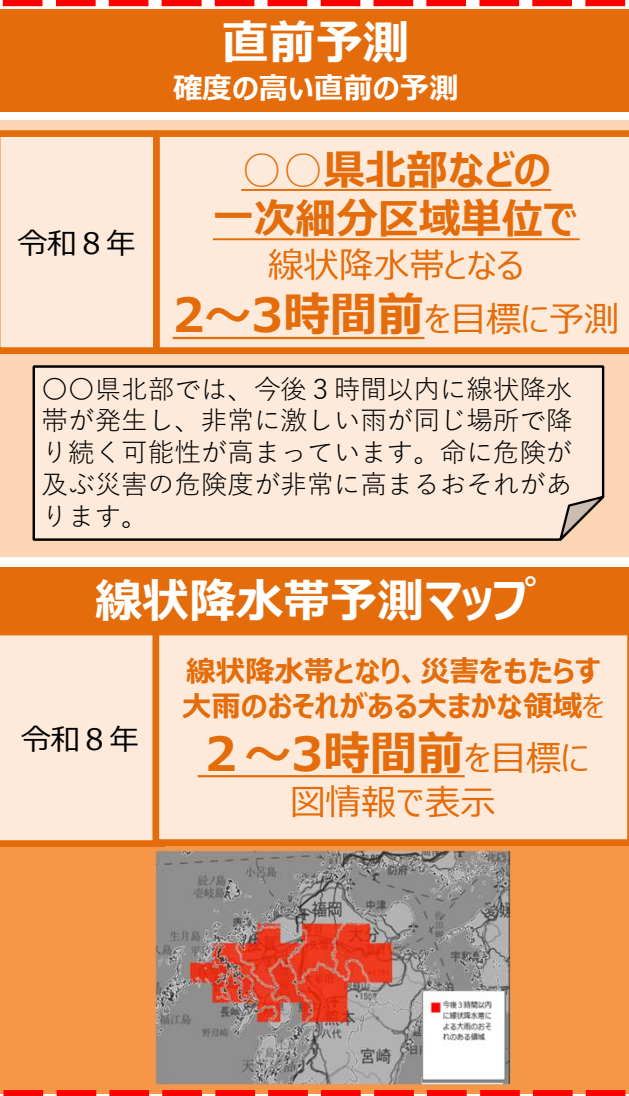
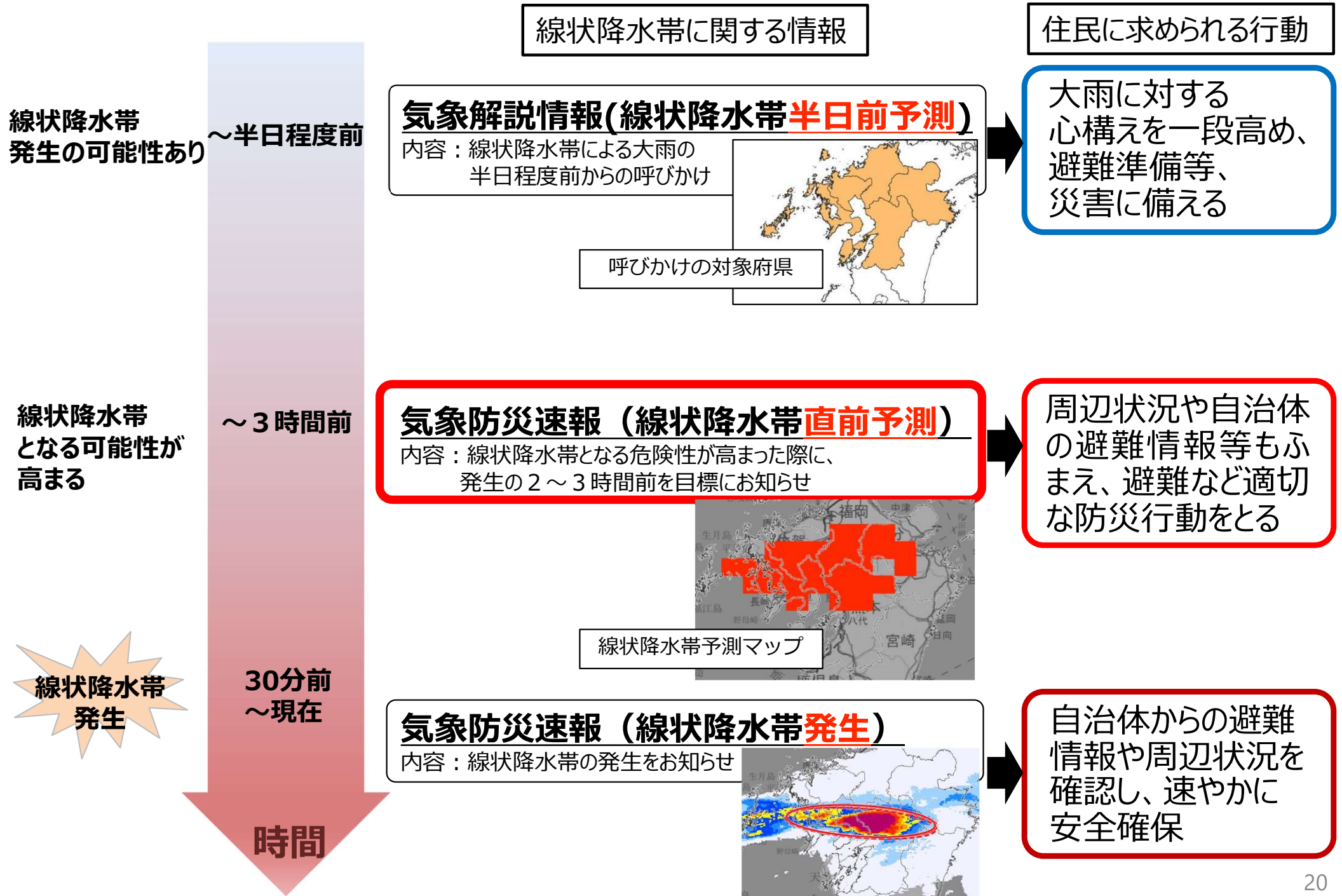


図
情報



※ 従前の計画通り令和11年に提供開始予定。
令和12年度運用開始予定の次期静止気象衛星により
更なる予測精度向上を目指す。





風の強さと吹き方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成19年4月一部改正)、(平成25年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

風の強さと吹き方(pdf)

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩みにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて 立っていられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始め る。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	30
	25以上 30未満	～110km					固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	40
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km～						

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る			道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				

(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

台風の大きさと強さ

気象庁は台風のおおよその勢力を示す目安として、下表のように風速(10分間平均)をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。「大きさ」は強風域(風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。

さらに、風速25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲を暴風域と呼びます。

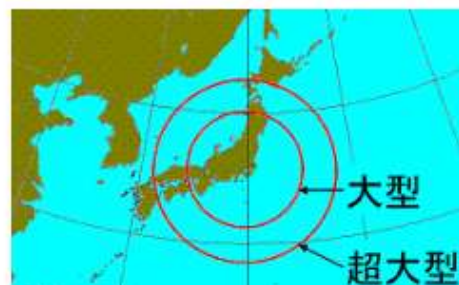
強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

大型、超大型の台風それぞれの大きさは、日本列島の大きさと比較すると以下ようになります。



台風に関する情報の中では台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で強い台風」のように呼びます。ただし、強風域の半径が500km未満の場合には大きさを表現せず、最大風速が33m/s未満の場合には強さを表現しません。例えば「強い台風」と発表している場合、その台風は、強風域の半径が500km未満で、中心付近の最大風速は33～43m/sで暴風域を伴っていることを表します。

なお、台風情報では暴風域を円形で示します。この円内は暴風がいつ吹いてもおかしくない範囲です。

天気予報では、1日を3時間ごとに区切って、表現しています。

時間帯	一日の時間細分		
00:00～03:00	未明	午前中	
03:00～06:00	明け方		
06:00～09:00	朝		
09:00～12:00	昼前	午後	日中
12:00～15:00	昼過ぎ		
15:00～18:00	夕方		夜
18:00～21:00	夜のはじめ頃		
21:00～24:00	夜遅く		

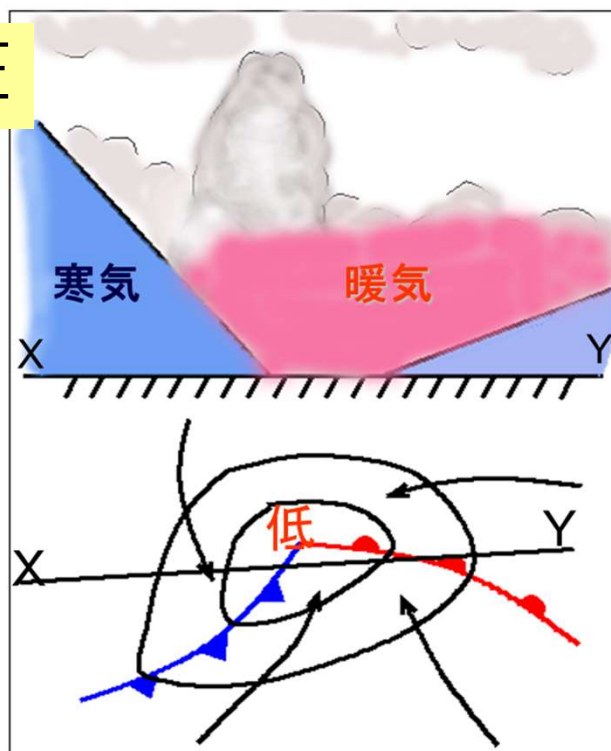
参考資料：台風と熱帯低気圧の違い

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋（赤道より北で東経180度より西の領域）または南シナ海に存在し、なおかつ**低気圧域内の最大風速（10分間平均）**がおよそ17m/s（34ノット、風力8）以上のものを「台風」と呼びます。

参考資料：台風と温帯低気圧の違い

温帯低気圧

寒気・暖気の
温度差をエネルギーに発生・発達



X-Yの
線で
切った
断面図

上から
見た図

熱帯低気圧

熱帯の大量の暖かく湿った空気をエネルギーに発生・発達



